

C12200-321

接続可能な画像処理装置・画像入力ボード

FVC07CLB

サポートする機能

取り込みモード名称 (ファースト呼称)	対応カメラ機能名称	備 考
ノーマル (通常) 入力	フリーラン	露光時間は通信にて設定
トリガ入力	外部トリガ (パルス)	露光時間はソフトウェア設定

留意事項

- カメラのモード設定はカメラリンク I/F を通して行われます。
- 指定のない設定項目については工場出荷設定で使用可能です。
- 弊社ライブラリ製品に用意された通信用 API 等を使用して設定を行う必要があります。
- 本説明書とカメラメーカーが提供する取扱説明書に記載された通信仕様を参考に設定を行ってください。
通信用 API の詳細についてはライブラリ製品の説明書・ヘルプ等を参照してください。

詳細な設定方法およびカメラ仕様につきましては、浜松ホトニクス株式会社様より提供される、「X線 TDI カメラ C12200 シリーズ 取扱説明書」を参照してください。

以下、通信コマンドを示します。

各モード共通の設定

コマンド	設定項目	設定
GM	画像取得モード設定	「0:フリーラン(デフォルト)」に設定

取り込みモードに依存する設定

ノーマル入力の場合

コマンド	設定項目	設定
LS	ライン速度設定※	「2.88[m/min]~36.864[m/min]」で任意に設定
SS	スキャン速度設定※	「1000[scan/s]~8000[scan/s]」で任意に設定
ET	露光時間設定※	「0.125[ms]~1.0[ms]」で任意に設定

※ライン速度設定コマンド (LS)、スキャン速度設定コマンド (SS)、露光時間設定コマンド (ET) を併用して使用した場合、最後に発行したコマンドの内容が有効になりますので、上記3つのコマンドの内1つを設定する事でモードの変更が行えます。

トリガ入力の場合

コマンド	設定項目	設定
LS	ライン速度設定※	「0」に設定
SS	スキャン速度設定※	「0」に設定
ET	露光時間設定※	「0」に設定

※ライン速度設定コマンド(LS)、スキャン速度設定コマンド(SS)、露光時間設定コマンド(ET)を併用して使用した場合、最後に発行したコマンドの内容が有効になりますので、上記3つのコマンドの内1つを設定する事でモードの変更が行えます。